カメラ機能を考へる

愚教師

本社の滿洲事變活動寫眞を御覽になられた方々は是非御一讀を願ひたいと思ひます。これを御覽になつて上海事變のフイルムと比較される時、なる程ときつと御解りになるだらうと思ひます。

—（記者）—

活動のカメラといふものは何でもありのまゝに寫し撮ることが出來て、實に便利なものである、と我人共に（のん氣だから彌）思つてゐたが、それが場合に依ると便利でも何でもなく、豫定行動の十分の一も動いて眞れない厄介な、だらしのないものである。否、だらしのないものになるのである—といふことが今度の北滿戰場に活躍した新聞通信社や軍部の活動寫眞班の苦い經驗でシミ〴〵と解つた。

△

それでのん氣な我々も今更のやうにカメラの機能及びフイルムなる物體に就てシミ〴〵考へてゐると、なる程從に立たないやうになるだけのちやんとした理屈が基處にはあるのである。

と云ふのは元來このカメラにしてもまたフイルムにしても假へそれがどんな進歩した精巧なものであつても、要するにそれ等は飛行機の上からカメラを向けてゐるカメラマンの蝙つべたには、凍傷なんか出來ちや居ない。

日光燦々と降りそゝぐカリフオルニアの温かい青空だ。その中でリヒトホーフエン曲馬團にとびついてバタ〳〵と叩き落される英軍飛行團の悲壯をうつしてゐる撮影機の上からカメラを向けてゐるカメラマンの蝙つべたには、凍傷なんか出來ちや居ない。

日光燦々と降りそゝぐカリフオルニアの温かい青空だ。その中でアルプスの雪の中がよイタリー・アルピニ歩兵がスキーに乘つて突擊する文明國人の使用を豫想としてつくられたものばかりなのだ。

だから同じ戰爭でも過般の世界大戰に活動した活動寫眞班などは多くて夏だつて、そんな大規模な激戰であらうと、活動寫眞撮影の點から見ると、要するにそれは温帶乃至おだやかな寒帶緑場の戰爭なのだから、今度の北滿戰上におけるわが映畫班の如きヒドイ目には事實一遍だつて遭つてはゐないのである。

△

カリフオルニアの青空や原つぱなどで作られた戰爭映畫の美しさや壯快さに感心した目で北滿から次ぎ〳〵に送つて來られるニユースリールを見て、うわア、實戰映畫だつてゐものはつまらないもんですな。第一小汚くつてハッキリ寫つちや居ないぢやないか——なあんてくてたらないことを云つちやいけない。

日光燦々と降りそゝぐカリフオルニアの温かい青空だ。その中で働けよ、と云はれた吊りものだから、本當に寒さと苦しさに驚いちまつて動かない。しなやかであるべきフイルムはこいつも驚いて硬直し、ポキ〳〵と折れ、モーターの巻送りには過重が起り、油は凍りレンズは曇る。おまけに一番いけないのは、カメラマンの體があつちこつち既にこはつてゐるとだ南極の烈風をカメラに叩きつけてゐるのにも等しい、飛行機上からの俯瞰撮影なんて、そんなことは春にでもなつたら出來るだらう。

◇新刊紹介◇

◇語學校の佐藤傳氏は『米加に於ける第二世の教育』と題する四六判總振り假名附四百五十頁の研究を發表された。

早速之を通讀した『日本語學校の經營』に關する事より『第二世の素質その他』の項に至るまで、筆を分つこと四、章を分つこと廿三、所說微に入り細に渉り、眞に深切丁寧を極めて居る而もその說く所、決して空論に馳せず、一々具體的經驗に基きたる公平の說で一讀何人も首肯せざるを得ぬ實際的說述である。私の如く、三度も北米に渡り第二世の父母たる人が、その子の教育に關して、眞劍に心配して居る實狀を見聞した者は、本當に裏心より喜ぶ。在米の父母等は本書の世に出づることを、眞實に本書に由りて、種々の疑惑を解き、又正しき第二世の教育方針を知り得るであらう。私は喜びて此書を在米の父母に薦むると共に、苟も邦人の海外發展に關心を有する者は、その内地にあると、外國に在るとに拘らず、この書を一讀せんことを勸むる者である。

これは商島東洋大學教授の序文の一節である。

著者は「私にとつては人生記錄の一部である」と云つて居られるが、よくもこれだけに纒めたものであると感心せざるを得ない。苟くも兒童教育に頭を惱まして居る人々は「教育の資料」として一讀すべき好著である

◆募　集

事實を基礎にした移民地でなくては見られぬ、そんな物語を御存じの方は、どし〳〵御投稿を願ひます。原稿は二千四百字内外のもの、原稿用紙でなくても差支ありません。毎月々末迄に「隔週大陸」係宛にお送り下さい。

Vol. 2 No. 16　THE TAIRIKU　SUPPLEMENT TO THE TAIRIKU NIPPO　1932 March 25th

隔週大陸（第十六號）
大陸社編輯
日報人山崎寧
附錄

第二世に日本を見せる

時代の要求によつて起つ

日本人商業組合

過日開催された日本人商業組合の役員會席上に於て、第二世に父母の國を見せる爲めに、見學團を組織しやうと云ふ事になり、委員が擧げられて研究する事になつたと云ふ事である。

◇

勿論まだ内容も固まつて居ないのであるし、又目下研究中なのであるから、何んな形に於て組織されるのか、その邊を知る事が出來ないが、これは是非實現さす可く在留同胞も力を添へていゝ問題であらうと思ふ。

◇

商業組合の仕事は、如何にしてより良い品物を、より安く賣るかと云ふ事の研究にあるであらう、然しそれが重大なる仕事ではないと思ふ。

◇

勿論私は本社の見學團を引率して日本を歩いて來た經驗を通して出來得るならばすべての第二世に日本を見せて、生れ變つた日本、美しい日本、文明な日本によつて、己と云ふ日本人形にかでか、若し商業組合の活動が或は狹量な人々によつて、封建的思想の鼓吹であると、あざけられるかも知れない、然し現實はその必要に迫られて居るのである。

◇

先日もこんな話を聞いた。それはシアトルにあつた實際の話であるさうだ。

或る日本人の家に十七八になる娘があつた。彼女はシアトルで生れてシアトルで育つたが爲めに、日本を知らう筈はなかつた。然し彼女は日本を學んだ、それは父母が、貧乏で生活出來ない國であると云ふ話から、或は新聞が、教科書が傳へる誤つたものから、であつた。そしてその結果は、インデアンの樣に、或は國なきジプシーの樣に、そうして日本人種である事の誇りを持つ事が出來ず、やがてこれが己のブライドを乘てさせて、彼女自身、日本人の娘として生れた事に云ひ知れぬ歎息をしたのである。そこで兩親は彼女を日本へ送つて、日本を學ばせた。かくて歸つて來た彼女は、「强く築かれて居る日本、美しい日本、文明な日本によつて、己と云ふ日本人種に滿腔の誇りを感じ、生れ變つた事に云ふ切なる願を持つてゐる。それは或は狹量な人々によつて、封建的思想の鼓吹であると、あざけられるかも知れない、然し現實はその必要に迫られて居るのである。

◇

先日もこんな話を聞いた。それはシアトルにあつた實際の話であるさうだ。

或る日本人の家に十七八になる娘があつた。彼女はシアトルで生れてシアトルで育つたが爲めに、日本を知らう筈はなかつた。然し彼女は日本を學んだ、それは父母が、貧乏で生活出來ない國であると云ふ話から、或は新聞が、教科書が傳へる誤つたものから、であつた。そしてその結果は、インデアンの樣に、或は國なきジプシーの樣に、そうして日本人種である事の誇りを持つ事が出來ず、やがてこれが己のブライドを乘てさせて、彼女自身、日本人の娘として生れた事に云ひ知れぬ歎息をしたのである。そこで兩親は彼女を日本へ送つて、日本を學ばせた。かくて歸つて來た彼女は、「强く築かれて居る日本、美しい日本、文明な日本によつて、己と云ふ日本人種に滿腔の誇りを感じ、生れ變つた事に云ふ切なる願を持つてゐる。

◇

これは唯一例に過ぎないであらう。然し太平洋沿岸にはこんな例は澤山ころがつて居る。私の引率して行つた五名の學生も、たしかに驚愕を以て日本を見て來たに相違ない、そしてその結果は、カナダ人としての生活を決してさまたげては居ないのである。

◇

これ等の點から見て、商業組合の計畫は、たしかに太平洋沿岸何處の同業者に於ても企て及ばなかつた、大きな意義を持つものであらうと思ふ。

◇

買ふなら日本人商店から、——耳ならされた宣傳の言葉である。そして餘りに弱つた響きしか持たない言葉である。が然し何う云ふ形にかでか、若し商業組合の活動を開始した、と云ふのであつた。

◇

これはたゞ一例に過ぎないであらう。然し太平洋沿岸にはこんな例は澤山ころがつて居る。私の引率して行つた五名の學生も、たしかに驚愕を以て日本を見て來たに相違ない、そしてその結果は、カナダ人としての生活を決してさまたげては居ないのである。

◇

これ等の點から見て、商業組合の計畫は、たしかに太平洋沿岸何處の同業者に於ても企て及ばなかつた、大きな意義を持つものであらうと思ふ。

◇

買ふなら日本人商店から、——耳ならされた宣傳の言葉である。そして餘りに弱つた響きしか持たない言葉である。が然し何う云ふ形にかでか、若し商業組合の活動を開始した、と云ふのであつた。

◇

これはたゞ一例に過ぎないであらう。然し太平洋沿岸にはこんな例は澤山ころがつて居る。私の引率して行つた五名の學生も、たしかに驚愕を以て日本を見て來たに相違ない、そしてその結果は、カナダ人としての生活を決してさまたげては居ないのである。

◇

殊に私は本社の見學團を引率して日本を歩いて來た經驗を通して出來得るならばすべての第二世に日本を見せて、生れ變つた日本、美しい日本、文明な日本によつて、己と云ふ日本人形にかでか、若し商業組合の活動を開始した、と云ふのであつた。

◇

これはたゞ一例に過ぎないであらう。然し太平洋沿岸にはこんな例は澤山ころがつて居る。私の引率して行つた五名の學生も、たしかに驚愕を以て日本を見て來たに相違ない、そしてその結果は、カナダ人としての生活を決してさまたげては居ないのである。

◇

殊に私は本社の見學團を引率して日本を歩いて來た經驗を通して出來得るならばすべての第二世に

◇

加奈陀
同胞發展秘錄

（特價廿五仙）

殘部僅少、引續き右の特價でお頒ち致します。至急お申し込み下さい。

◇

が何れにしても、私は商業組合から、斯うした新しい力が生れて來た事を嬉しく思ふ。心から感謝はない。又全部の負擔を商業組合が負ふべきである、といふのでもない、奉仕の一端を示して、他は在留同胞全體に仰げばよいのである。

◇

ヴァンクーバーの巻（11）

加奈陀ラ軍の一挿話

青年を捕虜にするには

シービー鐵道

ヴァンクーバーの巻（11）

加奈陀ラ軍の一挿話

茅野大毎記者の骸の前に
思ひこめた最後の心盡し
滿洲事變の哀話

鄭州で支那人の暴虐なる行爲を受けて慘殺の憂き目を見た大毎特派茅野氏の遺骸を前にして、その父と妻とは何んな氣持を持つたであらうか、全日本國民への報道に生命をさゝげた氏は、いま滿蒙開拓の人柱として、暗方面からその勇氣を讃されて居るが、以下は岩崎大毎社員からの通信である

× ×

私は故茅野榮君と同郷竹馬の友なるゆゑで二月十一日朝奉天に着いた茅野君竝父兼二氏と未亡人榮子さんとを遺骸の運ばれた鄭州へ案内する役割を命ぜられた、奉天驛頭に迎へた茅野氏の父は目尻のホクロまで私が少年時代の記憶をそのまゝに思ひ起させるなつかしい面影であつた、遺族父子を乘せた軍用列車は午前八時半奉天驛を發、お父さんは私をやはり『榮さん』と呼ばれる—茅野君と私とは偶然に同じ『榮』といふ名だ—榮さん其郎が迎へてくれるとは思はなかつた、人間といふものは全く運命ぢや、わしはあの子を今日まで育てあげるのになんなに苦勞をしたと思ひなさる、廿年間朝に星をいたゞき夕にまたその星を迎へるまで御存じのあの山の谷の水車小屋で一同が汗水たらしてやつと一日五十錢か、一圓の利益で、あの子を中學校から大學まで勉強させた、あいつは半分苦學をし、わしも人生の半分をあれのために捧げてヤッと大阪毎日の記者に仕上げた、あいつも『お父さん安心して下さい』といふとつた、それがこんなことになりました、村の人達はわしが氣遣ひになるやうなうといふてをります、しかしわしは氣遣ひにはならぬ、勇敢に精進した体に對してもこれから先もう廿年活動せにやならん、幸ひ孫を一人殘して置いてくれたから、あいつをまた大毎の記者に仕立て上げるまではわしや死なれんです、小さいダイヤモンド一粒を抱きしめて肌で温めてゐたのが突然消えてなくなつ

粒を大きな光る寶石にまで仕上げにやならぬ……

私は深く頭を垂れたまゝ答へる言葉がなかつた

未亡人は地圖を

膝にぢつと窓外にうつり行く雪の曠野を見つめてゐた。

大凌河を越ゆ双陽尙驛を一キロの報道に生命をさゝげた氏は、いま滿蒙開拓の人柱として、暗方面からその勇氣を讃されて居るが、以下は岩崎大毎社員からの通信である

× ×

私は故茅野榮君と同郷竹馬の友なるゆゑで二月十一日朝奉天に着いた茅野君竝父兼二氏と未亡人榮子さんとを遺骸の運ばれた鄭州へ案内する役割を命ぜられた、奉天驛頭に迎へた茅野氏の父は目尻のホクロまで私が少年時代の記憶をそのまゝに思ひ起させるなつかしい面影であつた、遺族父子を乘せた軍用列車は午前八時半奉天驛を發、お父さんは私をやはり『榮さん』と呼ばれる—茅野君と私とは偶然に同じ『榮』といふ名だ—榮さん其郎が迎へてくれるとは思はなかつた、人間といふものは全く運命ぢや、わしはあの子を今日まで育てあげるのになんなに苦勞をしたと思ひなさる、廿年間朝に星をいたゞき夕にまたその星を迎へるまで御存じのあの山の谷の水車小屋で一同が汗水たらしてやつと一日五十錢か、一圓の利益で、あの子を中學校から大學まで勉強させた、あいつは半分苦學をし、わしも人生の半分をあれのために捧げてヤッと大阪毎日の記者に仕上げた、あいつも『お父さん安心して下さい』といふとつた、それがこんなことになりました、村の人達はわしが氣遣ひになるやうなうといふてをります、しかしわしは氣遣ひにはならぬ、勇敢に精進した体に對してもこれから先もう廿年活動せにやならん、幸ひ孫を一人殘して置いてくれたから、あいつをまた大毎の記者に仕立て上げるまではわしや死なれんです、小さいダイヤモンド一粒を抱きしめて肌で温めてゐたのが突然消えてなくなつ

俄に化石した人

のやうな表情をしていつまでもいつまでも車窓から眼を離さない、『あの石もこの木も茅野がくゝらせてゐたのを見てゐたのでしやうに』と未亡人は泣くやうにいつた午後五時列車は錦州驛についた、一行はそのまゝ支那馬車に分乘錦州城内千年の古塔が落日に浮んでゐるその眞下の大廣濟寺孔子廟に如來の御像がかゝつてゐた、石原松尾兩大毎社員が

茅野君の棺の蓋

を取りのけた、誰かぶろうそくに火をつけた、うめたい暗闇がはのかに明るくなつた、親と子、妻と夫、そのやる瀨ない悲しいため息の幕が引き落された、お父さんと未亡人とが靜かに棺の縁から中をのぞき込んだ、一同は息を呑んで二人の顏を見詰めた、さいなまれ更に裸体にして嚴寒の凍土に棄てられてあつた茅野氏の上半身はたゞ一握りの黑髮を見せたゞけで白布にまきこまれてあつた、お父さんはいきなり手を突き込んで被せてあつた白布をもぎかしさうに拂ひのけて、ぢつと見下してゐたが突然『榮！』と大きな濁つた聲で呼びかけた。

榮、よくやつてくれた、わしはうれしいぞう、ようやつてくれたのう、お前としては殘念ぢやつたらう、わしもお前の敵をくひ殺してやつてもやき足らぬとは思ふとるが、しかし榮、よく考へて見よ、これみなお國のためぢやぞ、大毎の記者として社會のために倒れたのぢやぞ、男として、新聞記者として、こんな名譽なことは滅多にないぞ、

從軍僧侶の讀經

があつた、上弦の月は冴えて漆のやうに黑い空から、刺すやうな寒風がこの荒れはてた堂内に吹き込んで、ろうそくの灯が消えさうになる中を、悲しき白骨の御文章が朗々と讀み上げられる間、人々は順々に『釋大榮信士』とある法名の前に香をたいて、午後七時本社通信部に引あげ、一同は土瓶にわかした酒をわれ茶碗に汲みかはしながら老父と未亡人の思ひ出話を繰かへして夜をふかしたのだつた

參政權獲得問題と（五）
その歷史的研究

今村千治

樞密院の見解によれば、倘ほ炭鑛取締法の眞意は、外人又は歸化臣民に關係する法定的の禁止に基いて成立したものである、とあつてその故を以て加奈陀議會の權能內に拘束されるものとした、歸化の主題たるや、歸化に依つて以て發生すべき權利、換言すれば歸化を了して後、加奈陀に居住するのに隨する權利、特權たるべきものを修正する能力をも含んで居る外人と雖も歸化を爲すと共に國王に對する加奈陀臣民となるものであつて、外人に關しては、彼等は政治上の特權を主張すべき何等の法律もないのであるから、州議會は彼等に對して、參政權を拒絕する事が出來る、然し一度外人が歸化した後はセクション第十三は之等歸化外人に對して總ての政治上その他の權利と權能と特權とを與へ、且つ同時に生來の英國臣民が加奈陀國內に遵奉すべき義務の一切を負擔せしむるのである。

政治的權利、權能及び特權——とは、苟も普遍的の辭句で、登記に關しビーシー州のスープリムコートに於て

判事　ウヰルケム
　　ドレーキ
　　マーテン

州選擧法及び改正法規に就て並に晩香坡市選擧區投票係トーマス・カニンハムの決定に對するトミー本間の上告に就て

一九〇一年三月九日（土）

一九〇一年三月八日に審問ありたる晩香坡市選擧區投票係トーマス・カニンハムの本告訴事件は一九〇〇年十一月三十日附を以て晩香坡に於て開廷されたる晩香坡カウンテー・コートに於けるチーフ・ジャスチスの判決に對しての上告で卽ち當時の判決によれば、晩香坡市選擧區投票係の決定に對してのトミー本間の上告は受理され該會は彼等に對して、參政權を拒絕する事が出來る、然し一度外人が歸化した後はセクション第十三は之等歸化外人に對して總ての政治上その他の權利と權能と特權とを與へ、且つ同時に生來の英國臣民が加奈陀國內に遵奉すべき義務の一切を負擔せしむるのである。

政治的權利、權能及び特權——とは、苟も普遍的の辭句で、登記に關して法規の要求する所を果すべきことは勿論であるが要するに、參政權を行使するの權及び議會に於て選擧者を代表するの權利を意味するものである。

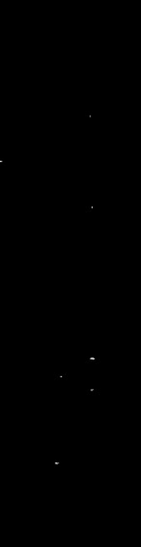
ドミニオンは、歸化外人に、政治的權利を許してある、卽ち州議會はドミニオンの法規を無効として取扱ふ事は出來ない、問題は解決困難に屬してゐる、樞密院の見解では、州の特有の統制の下にある諸種の事項に關しては、州は優る權を有して居るが、余の指摘した樣に、外人に許可された政治上の權利の問題は、ドミニオン議會の權利の範圍內にあり、ドミニオンは歸化人に政治的權利を認めて居るから、之等の人々が之等の權利を行使する事は出來ぬと、州議會が聲明する事は、州議會の越權である

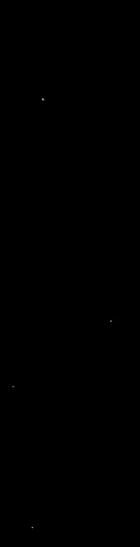
筋肉労働者たらしむべく

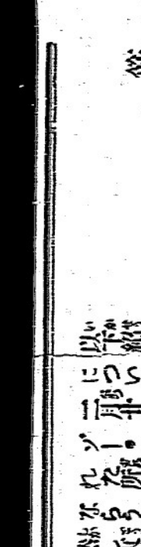
東洋人第二世を教育せよ

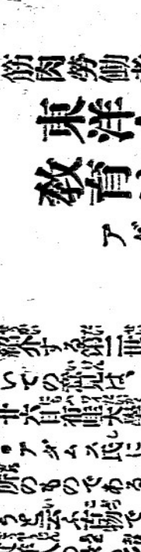
アダムス教授の忠言を聴け

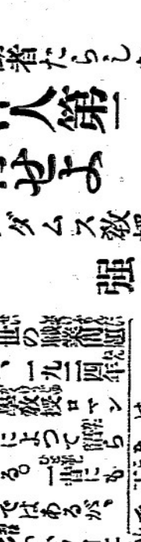
強い人種的偏見

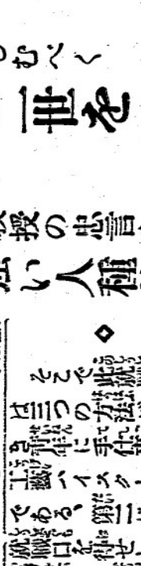


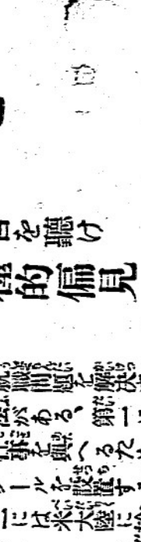


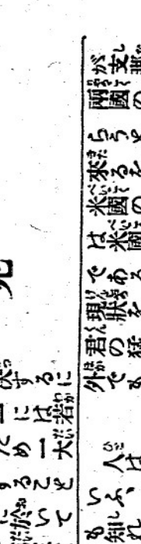


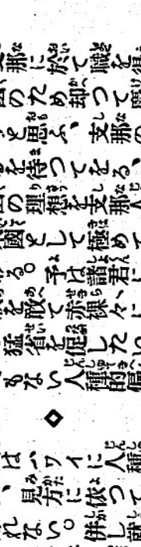


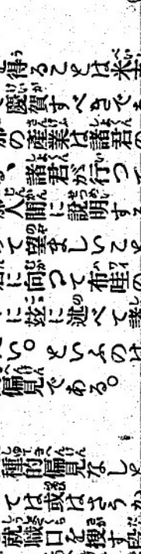


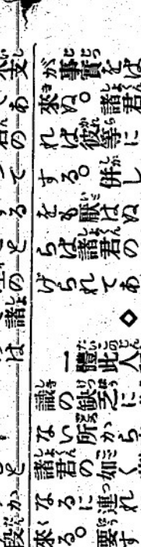


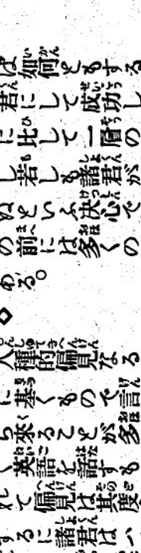


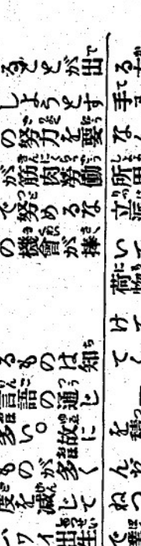


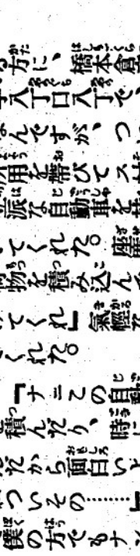


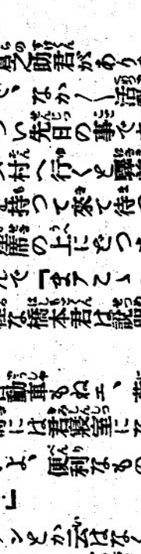


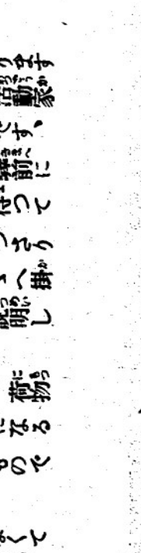


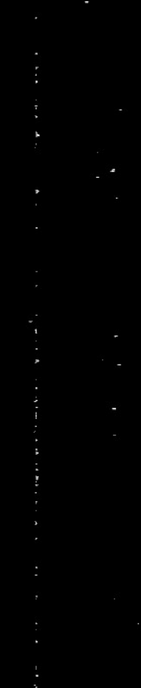


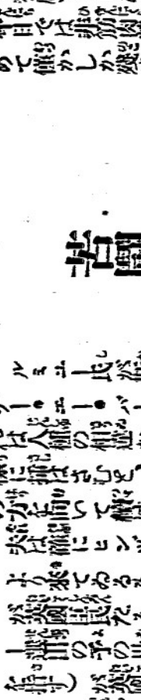


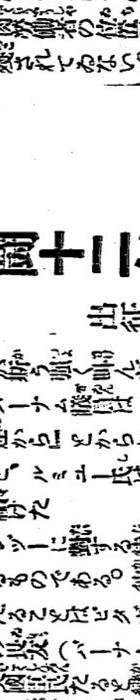


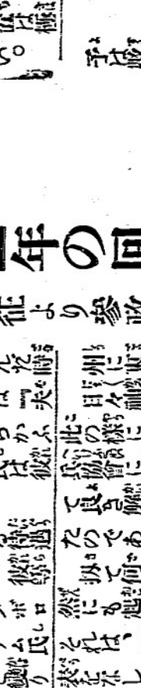












苦闘の回顧 十三

出征より参政権獲得まで

夫婦喧嘩と自動車

移動寝室に早がはり

X　Y　Z